

2017年度全日本少年サッカー大会東京都10ブロック大会要項

日 程 2017年10月 日, 日, 日(予備日 日, 日)

会 場 砂川中央グラウンド、府中少年サッカー場他

- 大会方式
1. 年度U12リーグ前期の成績順位に基づき別紙のとおりシードチームを決め、抽選により組み合わせ、トーナメント戦を行う。
 2. 1～4位を中央大会へ推薦する。ただし、推薦に値しないとブロック役員会で判断した場合はその他のチームから推薦する場合がある。
 3. 同点の場合は、3人によるPK戦にて勝者を決定する。但し、決勝戦は前後半各5分の延長戦を行った上、なお同点の場合はPK戦にて勝者を決定する。

- 競技規則
1. 下記2項から8項以外は、日本サッカー協会「2017/2018競技規則」による。
 2. 8人制による競技とする。登録選手の中から試合ごとに8人～16人をエントリーできる。競技者が退場を命じられた場合、当該チームは競技者を補充する。ピッチ上では常に8人いなければ参考試合（不戦敗）とする。参考試合は相手チームに得点3を与え当該チームの得点は0とする。本大会で退場を命じられた場合、次の1試合に出場できない。警告回数が2に達した場合も同処置とする。
 3. 試合時間は、原則20-5-20分とするが大会の消化状況その他の事情により短縮する場合がある。尚、給水タイムの採否に関しては本部の判断とする。
 4. ピッチの大きさは、縦68m×横50mを基本とする。できる限りこの大きさにすることが望ましいが、やむをえない場合は各会場の責任者に一任する。
 5. 試合球は4号ボール（各チームより拋出、空気圧0.8）使用。スパイクは固定式に限る。
 6. 交替は、交替ゾーンを使用し、主審に通知することなく交替できる。但し、ゴールキーパーの交替はアウトオブプレー中に主審の許可を得て行う。
 7. ベンチには監督1、コーチ2 の3名とその試合のエントリーした選手だけが入る。指導者はメンバー表に登録し最低2名入らなければならない。試合途中やむを得ない事情で2名未満となる場合は別の指導者を補充できるが、できない場合は参考試合（不戦敗）として扱う。なお、交替要員はユニフォーム姿のままベンチに座らないこと。
 8. キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。

- 審 判
1. 主審1名、副審2名の3人制でおこなう。
 2. 派遣審判員制度による割り当てを行う。

- 注意事項
1. 悪天候による中止等は、当日の第1試合開始2時間30分前までに決定する。（ただし、現地集合後の順延決定もあり得る）
 2. 会場準備は、会場責任チームが中心となり、第1試合、第2試合のチームから各2名以上の協力により行う。遅くとも第1試合開始1時間30分前には集合すること。
 3. 参加チームによる代表者ミーティングは行わない。
 4. ユニフォーム正副の本部チェックは行わない。ただし両チームメンバーチェック前に相談し、わかりやすい別色のユニフォームを着用すること。（代表者会議時に決めておくことを推奨する）
 5. メンバーチェックは、メンバー表に記載されている選手について各試合開始10分前、本部に集合して行う。第1試合については試合開始15分前よりおこなう。
 6. 第1試合のチームには、試合開始25分前から20分前まで5分間ピッチの使用を認める。但し、自治大学校、真如苑芝生ひろば、朝日サッカー場は試合以外の練習をピッチで行えない。
 7. ユニフォームは色の異なる正副2着（正副で番号が揃っているもの）を必ず用意すること。また、胸番は必ず付いていること。（持っていないと失格・不戦敗・場合によっては参考試合を行う）本部、及び審判部はユニフォームチェックを行わない。両チームがメンバーチェック前に全ユニフォームを持ち寄り、「はっきりと解る（もっとも遠い色）」を自主的に判断して着用すること。
 8. 各会場の注意事項をしっかりと把握すること。応援は本部にて決められた場所にて行うこと。特に駐車制限台数、スペースを守り（路上駐車厳禁）、必ず各クラブ作成の「駐車票」を掲示すること。
 9. 天然芝グラウンド使用時の飲料は水のみとする。ただし、「JFA熱中症対策ガイドライン」及び「10ブロック熱中症対策について」に則り休憩時には許可されたエリアでスポーツドリンク等による給水を認める。
 - 10 片付けは、最終試合の2～4チームが本部の指示に従い行うこと。